



教育目標：豊かな心を持ち、自ら学び、地域を元気にする中学生を育む
 ～明るく 元気に 学力向上！ 良樹細根 大樹深根 プライオン！～



西中通信 No3

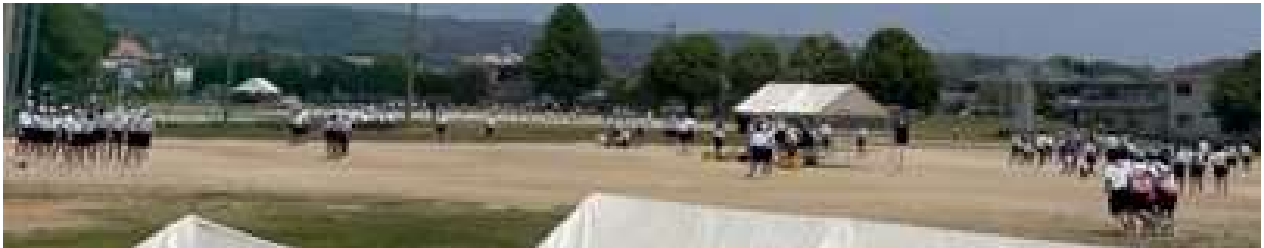
令和5年5月18日（木）
 大村市立西大村中学校



体育大会 ～練習風景～

今年度から熱中症対策等を考慮して、体育大会の開催時期を秋から春へ移動させています。いよいよ、本番は今度の日曜日と近づいてきました。

日ごろ生徒たちは、過ごしやすい初夏の気候の中で懸命に練習に取り組んでいます。練習の中で声を掛け合い、クラスの絆を深めることで、一人一人の仲間意識が高まり、生徒の成長が感じられる日々です。中学生の時期には欠かせない、人間関係力を高める学びがそこにあります。



昼休みも学級単位で自主練習！プライオン！



令和5年度大村市立西大村中学校「体育大会」

期日 5月21日（日）8時35分開会（8時30分入場行進開始）

11時50分閉会式（予定）※雨天延期 5月24日（水）

場所 西大村中学校グラウンド

スローガン **栄虹 ～ 繋ぐ架け橋 ～**

生徒の力強く若い
 エネルギーを感じながら、ご声援をいただければ幸いです！

お願い

- お車でのご来校は許可された車のみです。なお、商業施設、私有地、集合住宅などへの駐車はご遠慮ください。
 - 敷地は、飲酒及び喫煙はご遠慮ください。
 - 保護者席は、演技が行われている学年を優先して、譲り合って参観ください。
 - シートなどによる場所取りはご遠慮ください。
- ※トイレは、体育館横・プール横を利用ください。

保護者の皆様におかれましては、マスクの着用や観客数の制限がありません。新型コロナウイルス感染防止対策等については、自己責任でお願いいたします。

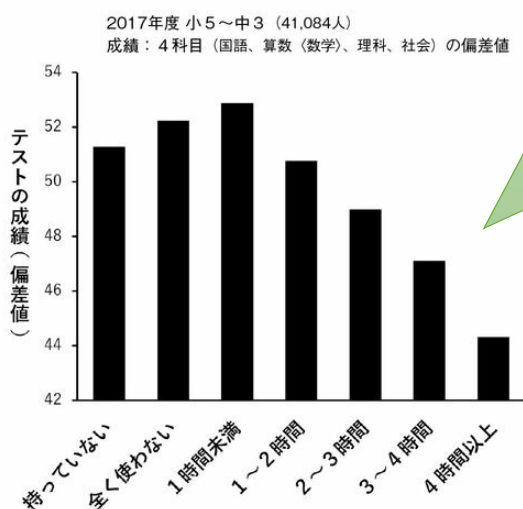
学力定着には欠かせない「スマホ利用時間の制限」

先日、次のタイトルの記事が目にとまりました。「研究者が思わずゾッとした『子どものスマホ使用時間と偏差値の関係』小中学生7万人調査でわかった衝撃の事実スマホの使いすぎが子どもたちの学力を破壊している」というタイトルです。【出典：『スマホはどこまで脳を壊すか』】

東北大学加齢医学研究所の北榊 浩平 助教授と「脳トレ」で有名な川島隆太 教授の研究によるもので、小中学生7万人を対象にスマホ使用と学力の関係を調べ「スマホの使用時間とテストの偏差値をグラフ化したところ、スマホを1日3時間以上使用する子どもたちは、勉強を頑張り睡眠時間を確保していたとしても、成績が平均未満になるという衝撃の事実が判明した」という記事でした。

ご家庭でも今一度、スマホ等の利用状況や家庭学習と睡眠時間の確保について話題にしてみてもいいのではないでしょうか。一時の娯楽が、生涯後悔することにもなりかねません……………。

図表1 スマホ等の使用時間と学力の関係



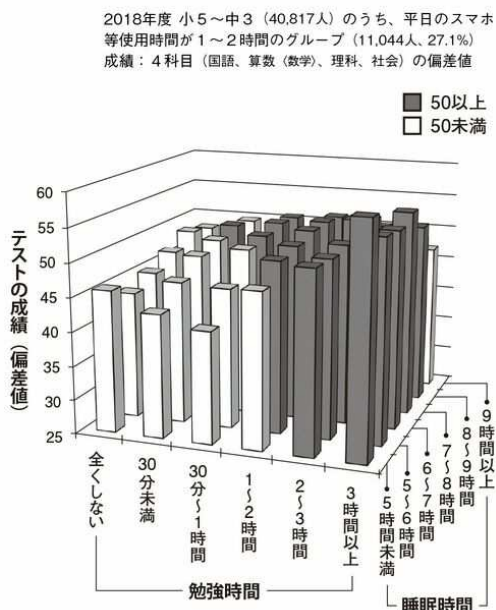
【図表1】は、スマホ等の使用時間と学力の関係が表してあります。

縦軸は標準学力検査から算出した偏差値で、平均点の子どもたちの値が50です。

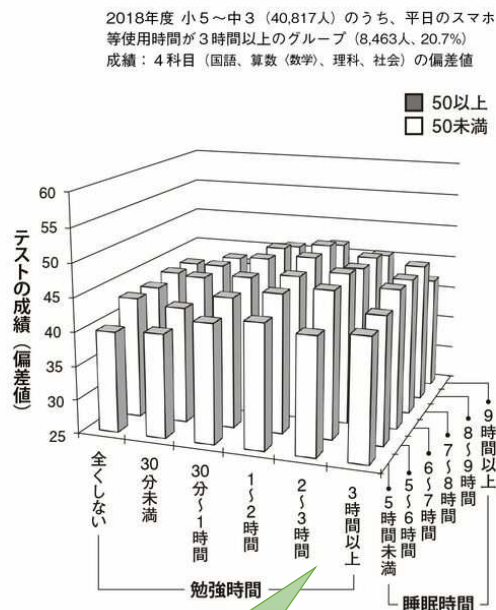
横軸には、平日における勉強以外の目的でのスマホ等の使用時間がとってあります。

実際の質問項目は、「ふだん（月曜から金曜日）、勉強以外で1日当たりどれくらいの時間、インターネット接続ができる機器（スマホ・タブレット・音楽プレーヤー・ゲーム機など）を使っていますか」というものです。

図表4 スマホ等の使用が1～2時間／勉強・睡眠時間と学力の関係



図表6 スマホ等の使用が3時間以上／勉強・睡眠時間と学力の関係



衝撃的なのは「スマホ使用時間が3時間以上」の結果です。灰色の棒が1本も残っていません。この結果からわかることは、スマホ等を1日3時間以上使用している子どもたちは、どれだけ勉強を頑張っている、きちんと睡眠時間を確保していたとしても、成績が平均未満に沈んでしまっているということです。